

# 図書館部報

岡崎市現職研修委員会  
学校図書館部  
令和3年9月24日  
No. 2



## 80年前 80年後

現職研修委員会学校図書館部部长  
矢作東小学校 校長 清松 治子

分散登校中のある日、6年生の教室を訪れたところ、一人の男の子が、「休み時間になったら、校長室に写真を見に行ってもいいですか」と声を掛けてきました。「もちろんいいよ」と答えて、はて、彼が見たいのはどの写真だろうと考えました。歴代の校長先生の写真か、今年度の学級写真か、昨年度撮影した航空写真か…。はたして、休み時間にやってきた彼が見たかったのは、本校の百周年記念誌でした。校長室で静かに記念誌をめくっていた彼は、休み時間終了の音楽を聞くと、お礼を言い、急いで教室に戻って行きました。

彼が帰った後、久しぶりに記念誌を見直したのには、特に理由があったわけではないのですが、そこで私は、ある記述を見つけました。それは、昭和17年のページにありました。同じページの、この年に起こった出来事のところを見てみると、「初の本土空襲」「ガダルカナルの攻防」「ミッドウェー海戦」と、戦争一色です。そんな中、学校概要にあったのは、「児童文庫室新築」の文字でした。

私は、すぐに耐火書庫から学校沿革史を引っ張り出してきて確認しました。すると、ありました。当時の本校は「矢作町東国民学校」という名称で、確かに昭和17年9月、児童文学室が建てられています。どこにあったのかが気になって、いろいろ調べてみたのですが記録がなく、やっと見つけたのは、昭和30年の校舎平面図でした。そこには、南側の校舎から北側の校舎に向かって一部屋分、突き出すように出ている図書室がありました。その部屋は、付け足し感満載で、校舎に囲まれたところに、たった一部屋、まるで隠れるようにぽつんとあるのです。本校は戦火を免れていますので、「児童文庫室」があったのも、この場所かもしれません。岡崎空襲の前とはいえ、戦争がどんどん激しくなる中、「児童文庫室」を新築した当時の関係者に、尊敬と感謝の気持ちを抱きます。その後、校舎は建て替えられ、図書室は校舎内に設置されましたが、本校では今も、図書室を「図書館」、低学年図書室を「えほん館」と呼んでいます。80年前、「児童文庫室」が、別棟として独立して建てられた名残なのかもしれません。

コロナ禍にあって、学校図書館の存在は、重要性を増したように思います。床には立ち位置のテープが貼られ、机にはアクリル板が設置されても、子供たちに本との出会いを提供する場所であることに、少しも変わりありません。

戦時中にも関わらず子供たちを本に出合わせてくれた80年前の人たちのように、私たちも、80年後の人たちに「子供たちのためにありがとう」と思ってもらえるように、学校図書館を運営していきたいと思う2学期のはじめです。



# ～授業力・教師力アップセミナー（基礎編）～

7月28日（水）に、授業力・教師力アップセミナー（基礎編）が美合小学校図書室で行われました。今回は、中日新聞より NIE コーディネーターの岩井伸江先生を講師としてお招きし、「始めてみよう NIE～楽しく気軽に出来る授業づくりのヒント～」と題して、小中学校の授業での新聞の活用方法について学びました。

NIE とは、「教育に新聞を」（Newspaper In Education）の略で、新聞を生きた教材として教育に活用する運動のことです。研修①では、小学校での新聞を活用した様々な授業実践を紹介していただき、研修②では、実際に新聞を読み、記事を選んで紹介し合う活動を行いました。今回、研修の中で教えていただいた実践は、国語科の授業だけでなく、様々な教科で活用でき、児童生徒たちも興味をもって楽しく参加できそうなものばかりでした。参加された先生方も、クイズや新聞の切り抜きに、生徒と同じように夢中になって取り組まれていました。

## 研修① 始めてみようNIE

最初に、NIE の三分野の活動や、新聞を活用した授業の実践についてのお話を頂いた後、新聞パズルに挑戦しました。新聞パズルを行うことで、見出しやリード文などの新聞の構成について、楽しみながら確認することができました。新聞を購読する家庭が減少しています。このような「パズル」という親しみやすい形で新聞のことを知っていくという活動は学校でも取り入れていくべきだと感じました。新聞の一面さえあれば作れてしまうのも利点ですね。



<新聞クイズで楽しく学ぶ様子>

## 参加者の声

- 低学年から新聞を授業で活用する方法があるとは、目からウロコでした。
- 説明が分かりやすく、授業で使えるようなアイデアを紹介していただけでよかった。
- 国語だけでなく、図工や家庭科にもつながられる実践例を知ることができてよかった。



<おすすめ記事の切り抜きを行う様子>

## 研修② NIEに挑戦！

研修②では、「わたしのおすすめ新聞記事」の切り抜きを行いました。ただ切り抜くだけではなく、先生方の色遣い、切り抜いて重ねて貼っていくなどの工夫に驚かされました。ただ切り抜くだけではなく自分でタイトルをつけたり、まとめを書いたりすることで新聞をより深く読み込むことができました。また、お互いの切り抜きに対するコメントを付箋に貼り合ったことで、一人ひとりの感じていることや考え方の違いを実感することができました。

## 参加者の声

- 他の方が書いた記事を見て、1つの新聞でもいろいろな見方があった。
- 授業参観でやってみたいと思った。
- 自分の興味のある記事を共有できるツールとして、NIE を上手に活用したい。

### 《お知らせ》

◎ 市教研大会の学校図書館分科会での発表を受け、福永えりな先生（根石小）、緒方涼子先生（竜海中）が県教研の正会員に決まりました。ご活躍を期待します。